

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども早期療育支援センター はぐくみ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 16日	～	R8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年 1月 26日	～	R8年 2月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 26日	～	R8年 2月 2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	はぐくみでの実践に基づいた教材・教具の具体的な提案と共有。	訪問先施設での行動観察を通じ、「児が座って活動しやすい環境設定」や、「児の発達段階に合わせた興味関心を引き出せる玩具の紹介」など、一人一人の実態に即した具体的な支援ツールを提案している。また、当事業所で実際に活用し効果のあった教材を紹介することで、園の先生方が日々の保育の中で即座に支援に取り入れられるよう配慮している。	訪問の報告時に、家庭でも必要なら取り入れられるよう、保護者にもどのような教材・教具を紹介したのか実物や写真などで共有する。
2	専門的見立てと具体的な助言。	訪問先施設が子どもの特性や心理状態を理解し、自律的に適切な支援を行えるように意識して話をしている。子どもの行動の背景にある心理状態を専門的に分析・分かりやすい言葉で言語化し、共有している。	手法だけでなく、訪問支援員がなぜその時その関わりを行ったのか等、支援の意図を「こどもの心理状態や背景にある特性」とセットで伝える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業について、保護者に周知されていなかった。	当施設のホームページに掲載されていなかった。個別に紹介をしていたが、全体への声掛けや説明がなかった。	保護者会の中で保育所等訪問支援について伝えた。ホームページに掲載をする。
2			
3			